



Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

# 地域創造レター

5月号—No.253

2016.4.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew

【ローズクォーツ】紅水晶のような淡いピンク色。

印刷やファッション、ウェブなど、さまざまな領域で“色”が利用されているが、その世界的な標準となっているのが米PANTONE社のカラーガイドだ(日本の印刷業界ではDIC社のカラーガイドが標準)。PANTONE社では毎年、その年を代表する流行色「カラー・オブ・ザ・イヤー」を発表しているが、2016年に選ばれたのがこのローズクォーツとセレニティ(静けさという意味をもつ水色)。ユニセックスをテーマに、ピンクから水色へのグラデーションなど、美しい色使いが提案されている。

## ●目次 / contents

## 今月のニュース.....2

一般財団法人地域創造  
平成28年度 事業紹介・事業スケジュール  
平成28年度 事業計画  
平成28年度 助成決定/助成事業一覧

## 財団からのお知らせ.....10

平成29年度「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)」  
実施団体募集・登録アーティスト紹介

## 今月の情報.....12

### 地域通信

## 今月のレポート.....14

福島県 チャレンジふくしまパフォーミングアーツプロジェクト  
『タイムライン』

## 平成28年度 地域創造 事業紹介

一般財団法人地域創造の平成28年度の事業計画が決定しました(P.4参照)。今年度も文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを図るため、以下のような事業を実施してまいります。今後ともより一層のご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いたします。

### ●研修交流事業

公立ホール・劇場の職員や自治体の文化担当職員の方々を対象とした研修事業「ステージラボ」を、今年度は7月に上田市交流文化芸術センター、来年2月に豊田市民文化会館という多彩な取り組みを行っている2つの施設を会場に実施します。

また、市町村長および文化行政担当幹部職員を対象とした「市町村長セミナー」(4月・千葉市、8月・大津市)、「文化政策幹部セミナー」(10月頃予定)を実施し、地域における文化・芸術活動についての理解を深めていただきます。

演劇の手法を使ったワークショップを行う「リージョナルシアター事業」は、6団体で実施し、それぞれの地域の課題に取り組みます。

### ●公共ホール等活性化支援事業

「公共ホール音楽活性化事業」(通称：おんかつ)は、今年度は17団体で実施します。おんかつ経験館が自主的に取り組む企画を支援する「おんかつ支援事業」には23団体、「文化庁連携事業」には8団体が参加する予定です。また、都道府県・政令市が県内の市町村と連携し、アウトリーチ事業を普及することを目的に開催している普及啓発プログラム「アウトリーチフォーラム」については、2カ年度事業の2年目を迎える広島県で市町村公演を、1年目の愛知県でシンポジウムを実施します。

「公共ホール現代ダンス活性化事業」(通称：ダン活)は、8団体で実施します。また、ダン活経験館が自主的に取り組む企画を支援する「ダン活支援事業」には3団体が参加します。

複数の公共ホールが共同・連携して演劇作品の上演を行う「公共ホール演劇ネットワーク

事業」は、10月から3月にかけて5団体で実施します。

「邦楽地域活性化事業」は島根県で開催。県内3市で地域交流プログラムを展開します。

公立美術館活性化事業のうち、「市町村立美術館活性化事業」では、「ポール・デルヴォー版画展～幻想のヴィーナスたち～」が9月より大垣市、市川市、田原市を巡回します。「公立美術館共同巡回展開催助成事業」では、「ベルギー近代美術の精華展～アンソール、クノッフからデルヴォー、マグリットまで」が7月より姫路市、松江市、徳島市、「パリに生きる パリを描く～M氏秘蔵コレクションによる～」が9月より笠岡市、稲沢市、神戸市を巡回します。「公立美術館共同地域交流プログラム助成事業」では、たつの市、相生市での「忠臣蔵から村文書まで」展におけるシンポジウムやフィールドワーク等に助成します。

助成プログラムのうち、「地域の文化・芸術活動助成事業」では、創造、連携、研修など4つのプログラムで、計131事業、156団体に対し助成します。

また、「地域伝統芸能等保存事業」では、地方フェスティバル事業、映像記録保存事業、保存・継承支援事業の3事業で、計29団体に対し助成します(P.5で詳しく紹介しています)。

### ●調査研究事業

平成28年度は、「高齢社会における公立文化施設の具体的な取組(仮)」を実施します。アンケート調査による事例収集、現地調査のほか、専門家からの意見聴取等を行い、その成果を取りまとめる予定です。

### ●地域創造フェスティバル/地域伝統芸能まつり

今年の「地域創造フェスティバル」は、東京芸術劇場で8月に開催します。おんかつ、ダン活の登録アーティストによるプレゼンテーションのほか、シンポジウムやセミナーを開催する予定です。

## ▼— 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

また、今年で17回目を迎える「地域伝統芸能まつり」は2月にNHKホールでの開催を予定しています。日本各地で脈々と受け継がれている地域伝統芸能と古典芸能を一堂に会して紹介する貴重な機会です。

研修交流事業および公共ホール等活性化支援事業につきましては、下記のスケジュールもご参照ください。また各事業の詳細は、適宜、本紙「財団のお知らせ」および当財団ウェブサイトでご活用ください。

### 平成28年度 一般財団法人地域創造事業スケジュール

	公共ホール・公立美術館活性化事業 / 研修交流事業 等	要綱発行・募集
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●28年度 公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト公開プレゼンテーション(HAKUJUホール/19日)</li> <li>●市町村長セミナー(市町村アカデミー/21日、22日)</li> <li>●27・28年度 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業開始(広島県/～12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステージラボ上田セッション参加者募集</li> <li>●29年度 公共ホール現代ダンス活性化事業実施団体募集</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●28・29年度 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラムシンポジウム実施(愛知県芸術劇場/17日)</li> <li>●28年度 公共ホール音楽活性化支援文化庁連携事業開始(全国8カ所/～2017年2月)</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●28年度 リージョナルシアター事業開始(全国6カ所/～2017年2月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●28年度 地域創造大賞募集</li> <li>●28年度 文化政策幹部セミナー参加者募集(予定)</li> <li>●29・30年度「公立美術館共同巡回展開催助成事業」(2か年、単年度)募集</li> <li>●30年度「市町村立美術館活性化事業」参加館募集</li> <li>●29年度「公立美術館共同地域交流プログラム助成事業」募集</li> <li>●29年度「公立美術館共同巡回展企画支援事業」募集</li> <li>●28年度 ステージラボ「公立ホール・劇場マネージャーコース」参加者募集(予定)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステージラボ上田セッション(上田市交流文化芸術センター/5日～8日)</li> <li>●28年度 公立美術館共同巡回展開催助成事業「ベルギー近代美術の精華展～アンソール、クノッフからデルヴォー、マグリットまで」展開開始(全国3カ所/～12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●29年度 邦楽地域活性化事業実施団体募集</li> <li>●29年度 公共ホール音楽活性化事業実施団体募集</li> <li>●29・30年度 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業実施団体募集</li> <li>●29年度 地域の文化・芸術活動助成事業/地域伝統芸能等保存事業助成団体募集</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市町村長セミナー(国際文化アカデミー/1日)</li> <li>●29年度 公共ホール現代ダンス活性化事業全体研修会(東京芸術劇場/1日～3日)</li> <li>●地域創造フェスティバル(東京芸術劇場/2日～4日)</li> <li>●28年度 邦楽地域活性化事業開始(鳥根県/～12月)(予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●29年度 公共ホール音楽活性化支援文化庁連携事業実施団体募集</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●28年度 公共ホール音楽活性化事業開始(全国17カ所/～2017年3月)(予定)</li> <li>●28年度 公共ホール現代ダンス活性化事業開始(全国8カ所/～2017年3月)</li> <li>●28年度 市町村立美術館活性化事業「ボール・デルヴォー版画展～幻想のヴィーナスたち～」展開開始(全国3カ所/～2017年1月)</li> <li>●28年度 公立美術館共同巡回展開催助成共同事業「パリに生きるパリを描く—M氏秘蔵コレクションによる—」展開開始(全国3カ所/～2017年2月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●29年度 公共ホール音楽活性化支援事業/公共ホール現代ダンス活性化支援事業実施団体募集</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雑誌「地域創造」第40号発行(25日)</li> <li>●28年度 文化政策幹部セミナー(地域創造/日程調整中)</li> <li>●28年度 ステージラボ「公立ホール・劇場マネージャーコース」(地域創造/日程調整中)</li> <li>●28年度 公共ホール演劇ネットワーク事業開始(全国5カ所/～2017年3月)</li> <li>●28年度 公立美術館共同地域交流プログラム助成事業開始(全国2カ所/～12月)(予定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ステージラボ豊田セッション参加者募集</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●28年度 地域創造大賞表彰式(都内/中旬)</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第17回「地域伝統芸能まつり」(NHKホール)</li> <li>●ステージラボ豊田セッション(豊田市民文化会館/21日～24日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●30年度 リージョナルシアター事業実施団体募集</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雑誌「地域創造」第41号発行(25日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●30年度 公共ホール演劇ネットワーク事業代表団体・参加団体募集(予定)</li> </ul>

### 平成28年度 地域創造メンバー

※4桁の数字は、03-5573に続く番号です

●顧問	
森 繁一(もり・しげいち)	4050
●会長	
遠藤安彦(えんどう・やすひこ)	4050
●理事長	
梶田信一郎(かじた・しんいちろう)	4050
●常務理事	
石川善朗(いしかわ・よしろう)	4050
●監事	
齋藤裕人(さいとう・ひろと)	4050
●事務局長(芸術環境部長事務取扱)	
田中敦仁(たなか・あつひと)	4061
●総務部	
○総務部長(振興助成課長事務取扱)	
吉野和久(よしの・かずひさ)	4051
○総務課長(事業課長)	
横山 繁(よこやま・しげる)	4052
○総務課	
齊藤大樹(さいとう・だいき)	4173
大堀洋子(おおほり・ようこ)	4050
米田裕子(よねだ・ひろこ)	4072
岩崎百代(いわさき・ももよ)	4065
長谷川美奈子(はせがわ・みなこ)	4058
○助成担当	
三浦文恵(みうら・ふみえ)	4164
冢本英里(いへもと・えり)	4184
○伝統芸能担当	
鈴江真由子(すずえ・まゆこ)	4056
○美術担当	
吉崎元章(よしざき・もとあき)	4053
三浦文恵	
○邦楽担当	
磯部 聡(いそべ・さとし)	4143
鈴江真由子	
●芸術環境部	
○企画課長	
佐倉 誠(さくら・まこと)	4063
○人材育成・調査研究・情報発信担当	
宇野加奈子(うの・かなこ)	4066
上木香奈(うえき・かな)	4068
小川 彩(おがわ・あや)	4093
○音楽担当	
■水上俊秀(みずかみ・としひで)	4064
阿比留ひろみ(あびる・ひろみ)	4069
佐藤 尚(さとう・ひさし)	4185
清宮寛子(せいみや・ひろこ)	4078
○ダンス担当	
■栗林礼也(くりばやし・ゆきや)	4055
湯澤智美(ゆざわ・ともみ)	4077
江坂秀晃(えさか・ひであき)	4073
○演劇担当	
小林弘和(こばやし・ひろかず)	4124
戸館正史(とだて・まさふみ)	4124
工藤 茂(くどう・しげる)	4076
○プロデューサー	
津村 卓(つむら・たかし)	4062
児玉 真(こだま・しん)	4168
■…ディレクター	

## ●平成28年度 一般財団法人地域創造事業計画

### I 事業の目的

地域住民が良質な文化・芸術を創造し、享受することができるようゆとりと潤いに満ちた健やかな地域社会の実現に資するため、地方公共団体との緊密な連携の下に、地域における創造的な文化・芸術活動のための環境づくり等に資する事業等を行い、もって美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的とする。

### II 事業の内容

平成28年度において、次の事業を実施する。

#### 1. 研修交流事業

地域の文化・芸術環境づくりに取り組む公共ホール、劇場、美術館等の職員及び地方公共団体の職員等を対象とした研修交流事業を次のとおり実施する。

##### (1) ステージラボ・アートミュージアムラボ

事業の企画制作能力等の向上を図るため、①地域の公共ホール・劇場及び文化・芸術に携わる地方公共団体の職員を対象とした研修「ステージラボ」、②公立美術館等の職員を対象とし、美術部門に特化した研修「アートミュージアムラボ」を実施する。

##### (2) 文化政策セミナー

地域における文化・芸術活動についての理解を深めるため、市町村長及び地方公共団体の文化行政担当幹部職員を対象に、セミナー等を実施する。

##### (3) 都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議

文化・芸術振興等についての理解を深め、地域創造と各地方公共団体との連携を一層強化するため、都道府県及び政令指定都市の文化行政担当課長等を対象に、意見交換等を実施する。

##### (4) リージョナルシアター事業

地域交流プログラム(※)の実施に必要な基礎知識と共通認識の習得及び地域に根ざした企画能力等の向上を図るため、研修会を実施後、公共ホールに派遣した演劇の表現者とともに公共ホールの職員が地域に応じたプログラムを企画、検討し、地域で演劇の手法を活用したワークショップを実施する。

※地域交流プログラム…学校に向向いてのアウトリーチや公共ホールでの公募型ワークショップなどを通じて、地域住民との交流を図る取り組み。

#### 2. 公共ホール等活性化支援事業

##### (1) 公共ホール音楽活性化事業

地域においてクラシック音楽を身近なものとするにより地域文化の活性化を図るとともに、地域の文化事業担当職員の企画・制作能力を高める人材育成に資するため、公演や地域交流プログラムを実施する。

###### ① 通常プログラム

市町村との共催により、クラシック音楽に触れる機会の少ない地域にアウトリーチコンサートを提供し、公共ホールの担当者が、アウトリーチの企画・制作に必要な実践的なノウハウを修得することを目的として、研修会、クラシック音楽と身近にふれあうコンサート及び地域交流プログラムを実施する。

###### ②-1 支援プログラム

(助成率：1年目2/3以内、2年目：1/3以内)

通常プログラムを実施した市町村が、そのノウハウを活用し、引き続き、クラシック音楽と身近にふれあうコンサート及び地域交流プログラムを行う事業に対して支援を行う。

###### -2 文化庁連携事業(助成率：1年目8/10、2年目2/3)

音楽分野における、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)」の助成を受けて「アウトリーチ事業」を実施する学校と、地域創造の「音楽活性化支援事業」の実施経験がある公共ホールが連携することにより、これまでのノウハウを活かした効果的なアウトリーチを実施する。また、公共ホールの一層の活性化を図るため、「公演事業」に対して支援を行う。

###### ③普及啓発プログラム

都道府県等と連携し、実施ホールの企画・制作担当者や派遣演奏家等を対象とした研修事業及びクラシック音楽と身近にふれあうコンサートと地域交流プログラムを組み合わせた市町村での公演事業等を実施する(アウトリーチフォーラム)。また、政令指定都市との連携により、人材育成・研修に重点を置いたプログラム(アウトリーチセミナー)は、平成29年度事業実施に向けた準備を行う。

##### (2) 公共ホール現代ダンス活性化事業

地域において現代ダンスを身近なものとするにより地域文化の活性化を図るとともに、地域の文化事業担当職員の企画・制作能力を高める人材育成に資するため、公演や地域交流プログラムを実施する。

###### ① 通常プログラム

地方公共団体等との共催により、現代ダンスに触れる機会の少ない地域にダンス公演等を提供し、公共ホールの担当者が、アウトリーチの企画・制作に必要な実践的なノウハウを修得することを目的として、研修会、現代ダンスの公演及び地域交流プログラムを実施する。

###### ② 支援プログラム

(助成率：1年目2/3以内、2年目：1/3以内)

通常プログラムを実施した市町村が、そのノウハウを活用し、引き続き行う現代ダンスの公演及び地域交流プログラムに対して支援を行う。

##### (3) 公共ホール演劇ネットワーク事業(助成率：2/3以内)

公共ホールの情報発信能力の向上を図るとともに、地域の演劇分野における環境づくりを通じて創造性豊かな地域づくりに資するため、公共ホールが共同・連携して実施する演劇公演及び演劇の手法を活用した地域交流プログラムに対して支援を行う。

##### (4) 邦楽地域活性化事業

日本の伝統音楽の継承・発展、都道府県域内の公共ホールの連携促進や職員の企画・制作能力の向上を図るため、公共ホールの担当者、参加演奏家等を対象とした研修プログラム、公共ホールを拠点とした邦楽による地域交流プログラム及び公演を実施する。

##### (5) 公立美術館活性化事業

公立美術館の企画制作能力の向上、連携の促進、所蔵作品の利活用等を図るため、複数の公立美術館による、公立美術館のコレクションを活用した共同巡回展の実施を支援する。

###### ① 市町村立美術館活性化事業

(助成率：準備年度1/1、開催年度2/3以内)

複数の市町村立美術館による、地域創造が企画提示する共同巡回展を実施する事業に対して支援を行うもので、平成28年度は、開催支援並びに平成30年度開催に向けた準備を行う。

###### ② 公立美術館共同巡回展開催助成事業

-1 2か年プログラム

(助成率：準備年度・開催年度共2/3以内)

3館以上の公立美術館が自主的な企画・制作により、公立美術館の所蔵作品等を巡回展示する共同巡回展の準備及び実施に係る経費に対して助成を行う。

-2 単年度プログラム(助成率：2/3以内)

3館以上の公立美術館が自主的な企画・制作により、公立美術館の所蔵作品等を巡回展示する共同巡回展の実施に係る経費のうち、作品借用・展示に係る経費、または共同巡回展カタログ作成に係る経費に対して助成を行うもので、平成28年度は平成29年度事業実施に向けた準備を行う。

###### ③ 公立美術館共同巡回展企画支援事業(助成率：1/1)

2館以上の公立美術館の自主的な企画制作により開催される共同巡回展の企画検討を支援するも、平成28年度は平成29年度支援に向けた準備を行う。

###### ④ 公立美術館共同地域交流プログラム助成事業

(助成率：1/1)

2館以上の公立美術館が共同で企画・実施する、公立美術館の所蔵作品等をテーマとした展覧会に 関連した地域交流プログラムの実施に係る経費に対して助成を行う。

##### (6) 地域の文化・芸術活動助成事業

地方公共団体等が地域において自主的に実施する文化・芸術活動を支援するため、各プログラムの事業に対して助成を行う。

###### ① 創造プログラム(助成率：1/2以内)

地域の活性化に寄与する長期的展望を有し、発展的・継続的に事業を実施するうえで他の地域の参考となるような顕著な工夫が認められる事業(一般分)や都道府県・政令指定都市が自主事業の企画制作能力の更なる向上や周辺地域の公立文化施設に波及効果をもたらす事業(企画制作力向上特別分)

###### ② 連携プログラム(助成率：2/3以内)

単独では実施できないが、複数の団体が連携することにより初めて実施できるもので、3以上の地方公共団体等が連携して、共同で制作する公演・展覧会のうち地域交

流プログラムを伴う事業

###### ③ 研修プログラム(助成率：2/3以内)

公立文化施設等の企画・運営に携わる者及び地域文化コーディネーター等、地域の文化・芸術活動を担う者のスキルの上昇、ノウハウの習得等を目指し、地方公共団体等が自ら主体的に企画・実施する実践的な人材育成事業

###### ④ 公立文化施設活性化計画プログラム(助成率：2/3以内)

公立文化施設の利活用の推進を図るための計画を策定する事業

##### (7)「アート+ (プラス) まちづくり」モデル事業

(助成率：1/2以内)

文化・芸術の振興は、地域住民の生活を豊かにするとともに、防災・防犯、教育、福祉、経済等の様々な分野への効果が期待されている。これに対応し、地方公共団体等が実施する文化・芸術を活用した地域づくりの先進的な取り組みを対象に支援する。

#### 3. 情報交流・調査研究等事業

##### (1) 情報交流事業

定期刊行物やホームページ等により、地域の文化・芸術活動に資する情報提供を行う。

###### ① ニュースレター発行事業

地域創造と各地域の公立文化施設、制作者等の文化・芸術関係者をつなぐ基本的な媒体として、各地域のユニークな公演・展示の情報や参考となる各地の取組事例、地域創造の事業のお知らせ等を掲載した「地域創造レター」を毎月発行する。

###### ② 雑誌発行事業

文化・芸術環境づくりのケーススタディーや公立文化施設の有効な運営方法を模索する企画記事等を内容とする雑誌「地域創造」を年2回発行する。

###### ③ 各種情報提供事業

ホームページの運営を通じ、地域創造及び公立文化施設に関する各種情報や、定期刊行物に掲載した地域の文化・芸術に関する情報等を蓄積し、提供を行う。

##### (2) 調査研究事業

地域の文化・芸術環境づくりについて全国的な視点から実態調査・分析・研究を行い、それらの成果を積極的に活用して、関係者からの相談等の対応を行う。

##### (3) コンサルティング事業

地方公共団体からの文化・芸術の振興による地域づくりに関する相談等に応じる。

##### (4) 表彰事業

地域における文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりに特に功績のあった公立文化施設に対し、「地域創造大賞(総務大臣賞)」を授与し、表彰する。

#### 4. 地域伝統芸能等保存事業

ふるさとづくりに向けた地域住民の取組や地方公共団体の文化環境づくりに資するため、地域の伝統芸能等(祭り、伝説、神話、民話、習俗等)の映像への記録・保存・収蔵、地域の伝統芸能等の継承活動の成果を発表するための公演の開催に対する助成等を行う。

##### (1) フェスティバル事業

###### ① 全国フェスティバル事業

地域伝統芸能等の保存・継承に関する国民的機運の盛り上げを図るため、「地域伝統芸能まつり」を開催する。

###### ② 地方フェスティバル事業(助成率：1/2以内)

地域固有の伝統芸能等を保存・継承するための公演事業を行う地方公共団体等に対し助成する。

##### (2) 映像記録保存事業

###### ① 地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業

映像記録保存事業により作成された映像等をデジタルコンテンツ化し、インターネットで発信する「地域文化資産ポータルサイト」を運営する。

###### ② 映像記録保存事業(助成率：2/3以内)

各地域で失われつつあり、これまで記録に残されてこなかった伝統芸能等をDVDビデオ映像等に記録・保存する市区町村に対して助成を行う。また、地域創造に映像ライブラリーを設置し、作成された映像記録を公開する。

##### (3)【新】活動団体支援事業(保存・継承活動支援事業)

(助成率：1/2以内)

地域固有の伝統芸能等の保存・継承活動を行っている団体等への支援を行っている市区町村に対して助成を行う。

## ▼— 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

### 平成28年度 地域創造 助成決定

#### ●平成28年度「地域の文化・芸術活動助成事業」「地域伝統芸能等保存事業」採択事業決定

平成28年度は、「地域の文化・芸術活動助成事業」、「地域伝統芸能等保存事業」の2つの助成事業について、平成27年7月下旬から9月末にかけて募集を行い、厳正なる審査の結果、185件の採択を決定。平成28年4月1日付けで各団体に助成決定通知を送付しました。詳細は下記のとおりです。

##### ◎地域の文化・芸術活動助成事業

自らが行き地域と積極的に関わりをもつ事業であることを重視し、これに加え、「創造プログラム(一般分)」では、複数年にわたる事業で、発展が見込まれるものであること、「創造プログラム(企画制作力向上特別分)」では、企画制作力向上に資するものであることや他

施設への波及効果をもたらすものである点。「連携プログラム」では、複数館の連携事業であっても各館の自主性が発揮されているかといった点。「研修プログラム」ではより実践的で職員の能力向上に繋がることなどが採択のポイントとなっています。

##### ◎地域伝統芸能等保存事業

地域固有の伝統芸能であり、各地域でこれからの保存・継承活動に繋がる事業であることを重視しています。これに加え、「地方フェスティバル事業」では今後の継続的な活動につながるもの、「映像記録保存事業」では後世のために映像として記録・保存する必要があるもの、「保存・継承活動支援事業」では市区町村が積極的に支援を行っているもの、などが採択のポイントとなっています。

#### 平成28年度 助成事業等決定状況(件数)

[参考]

事業名	区分	H28年度		H27年度	
		申請	決定 決定額(千円)	申請	決定
地域の文化・芸術活動助成事業	創造プログラム(一般分)	93	75 290,400	87	70
	創造プログラム (企画制作力向上特別分)	27	25 157,300	23	18
	連携プログラム	56	36 122,600	83	53
	研修プログラム	21	18 22,500	23	20
	活性化計画プログラム	3	2 2,600	0	0
	小計	200	156 595,400	216	161
地域伝統芸能等保存事業	地方フェスティバル事業	9	9 6,317	13*	8*
	映像記録保存事業	8	7 9,864	10	10
	保存・継承活動支援事業	14	13 2,728	—	—
	小計	31	29 18,909	23	18
合計	231	185 614,309	239	179	

\*H27年度は「継承者育成事業」

●「地域の文化・芸術活動助成事業」に関する問い合わせ  
総務部 三浦  
Tel. 03-5573-4164

●「地域伝統芸能等保存事業」に関する問い合わせ  
総務部 鈴江  
Tel. 03-5573-4056

平成28年度

## 助成事業一覧

\*リストの見方

申請事業名以下、申請団体/実施時期  
(平成28年度)/事業年度の順に掲載

地域の文化・芸術活動助成事業  
156件

創造プログラム(一般分) 75件

- Forest of New Arts  
(フォレスト・オブ・ニューアーツ)  
(公財)札幌市芸術文化財団/9月～2月/2年目(2年間)
- 地域劇場をフル活用!市民参加型音楽劇創作プログラム  
北海道砂川市/2017年1月/1年目(3年間)
- 「オペラを作ろう!」  
北海道深川市/12月/2年目(2年間)
- アンサンブルグループ奏楽コンサート～奏楽と音楽でつながる子どもたち  
北海道斜里町/7月/1年目(3年間)
- 一曲からつながる・つなげるプロジェクト  
北海道中標津町/8月/3年目(3年間)
- 青森EARTHアウトリーチ  
青森県/8月/2年目(2年間)
- 調査と表明  
(公財)仙台市市民文化事業団/10月/1年目(3年間)
- 清水真弓とヨーロッパの音楽家たち vol.3  
(公財)名取市文化振興財団(宮

- 城県)/2017年3月/3年目(3年間)
- 加川広重アートプロジェクト(仮)  
宮城県蔵王町/10月/1年目(3年間)
- バッハホール管弦楽団創設プロジェクト  
宮城県加美町/7月、12月/3年目(3年間)
- 舞踊・舞踏フェスティバル開催事業(石井漢・土方巽 国際ダンスフェスティバル)  
秋田県/10月～11月/1年目(3年間)
- アリオス・バレエシアター2016  
福島県いわき市/2017年3月/3年目(3年間)
- 足利市民会館「移動劇場」～3つの専属プロフェッショナル芸術団体による足利市民芸術教室～  
(公財)足利市みどり文化・スポーツ財団(栃木県)/4月/3年目(3年間)
- 街の魅力発見!プラザイースト演劇アカデミア  
(公財)さいたま市文化振興事業団/10月/1年目(3年間)
- 上尾音楽家芸術活動支援事業  
埼玉県上尾市/12月/1年目(3

- 年間)
- NANSO舞台芸術創造プロジェクト第16弾 県民参加創作劇  
千葉県/2017年2月/2年目(2年間)
- 音楽劇  
千葉県船橋市/9月/2年目(3年間)
- 市民創作ミュージカル  
千葉県鎌ヶ谷市/2017年2月/2年目(3年間)
- 新井英夫「体奏」アウトリーチ・ワークショップ&公演  
(公財)君津市文化振興財団(千葉県)/2017年1月～2月/1年目(3年間)
- ミュージック・プログラム・トーキョー Music Education Program Workshop Workshop!  
東京都/通年/2年目(3年間)
- 新宿・フォークソングが流れる街/新宿カウンターカルチャーストーリー  
(公財)新宿未来創造財団(東京都)/10月/2年目(3年間)
- 東日本復興支援コンサート2017及び関連イベント  
(公財)目黒区芸術文化振興財団(東京都)/2017年2月～3月/2年目(3年間)
- 下丸子◇演劇ぶろじゅくと  
(公財)大田区文化振興協会(東京都)/2017年2月/1年目(3年間)
- としま文化創造プロジェクト  
東京都豊島区/8月/3年目(3年間)
- あらかわ舞台芸術創造プロジェクト  
(公財)荒川区芸術文化振興財団(東京都)/2017年3月/3年目(3年間)
- 小金井アートフル・アクション! 芸術文化で異世代間を結ぶ事業「小金井と私 秘かな表現」  
東京都小金井市/8月/2年目(3年間)
- KAATキッズ・プログラム「わかったさんのクッキー」



砂川涼子&村上敏明&市民コンサート「ふるさと」と「こもり!」  
(2015年9月27日/深川市文化交流ホール みらい)

## ▼— 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します



KAATキッズ・プログラム2015「わかったさんのクッキー」  
(2015年7月23日～8月2日/KAAT 神奈川芸術劇場 中スタジオ) 撮影:前澤秀登

(公財) 神奈川芸術文化財団/7  
～8月/2年目(2年間)

●杉劇アートdeにぎわいプロ  
ジェクト

(公財) 横浜市芸術文化振興財  
団/4～8月/2年目(3年間)

●おだわらリボンシアター・劇  
場文化の継承事業  
神奈川県小田原市/6月～/1年  
目(3年間)

●越後妻有 里山パフォーマー  
イン・レジデンス

新潟県十日町市/7月～10月、  
2017年2月～3月/1年目(3年間)

●子どもたちの国際舞台芸術  
体験事業

(公財) 富山県文化振興財団/  
2017年3月/3年目(3年間)

●一五環の森プロジェクト

(公財) 高岡市民文化振興事業  
団(富山県)/12月～2017年1  
月/2年目(2年間)

●コスモホール開館30周年記念  
ポール・メイエ&クアルテット・  
エクセルシオ演奏会

(公財) 入善町文化振興財団(富  
山県)/10月/1年目(3年間)

●フレッシュアンサンブルコン  
サート in KANAZAWA (仮称)

(公財) 金沢芸術創造財団(石川  
県)/2017年2月/1年目(3年間)

●若狭熊川まちなみ芸術祭  
福井県若狭町/9月～10月/3  
年目(3年間)

●地域を牽引する「人」「もの」  
「心」創出プロジェクト(仮称)

新説ミュージカル シンデレラ

～ねずみたちのプリンセス～

山梨県/2017年2月/1年目(2年  
間)

●『まつもと演劇工場』による  
地域文化の創造、共有および発  
信事業

(一財) 松本市芸術文化振興財団  
(長野県)/2017年3月/2年目(3  
年間)

●「レジデント・アーティストプ  
ログラム～創造の交差点(仮称)

～」

長野県上田市/6月、2017年2  
月/1年目(3年間)

●障がい者の表現活動を支援  
する事業

長野県辰野町/10～11月/3年  
目(3年間)

●音楽とダンスのコラボレーシ  
ョン

岐阜県山県市/9月～3月/3年  
目(3年間)

●マリナート・ウインズ  
“響きのある街”プロジェクト

静岡市/未定/1年目(3年間)

●茶文化創造千日プロジェクト  
「かけがわ茶エンナーレ」

静岡県掛川市/6月～2017年3  
月/2年目(3年間)

●まんてんプロジェクト

静岡県川根本町/12月/2年目  
(3年間)

●あいちトリエンナーレ実行委  
員会

愛知県/8月～10月/2年目(2年  
間)

●みかわダンス活性化事業  
パティオダンスプロジェクト

「新風」

(一財) ちりゅう芸術創造協会  
(愛知県)/5月/3年目(3年間)

●演劇の魅力発信事業

愛知県武豊町/5月～8月/1年  
目(3年間)

●亀山市ミュージカル劇団  
アウトリーチ推進事業

(公財) 亀山市地域社会振興会  
(三重県)/11月/1年目(2年間)

●みんなであつろう

オペラ「森は生きている」

(公財) びわ湖ホール(滋賀県)/4  
月～2017年2月/1年目(3年間)

●子どもたちの舞台芸術創造  
事業 ～未来の「劇場文化」のた  
めに～

京都市/10～11月/3年目(3年  
間)

●アートプロジェクトと地域を  
つなぐ地域コーディネーターと

の協働に向けて(仮)

大阪市/2017年2～3月/1年目  
(2年間)

●かわちながの世界民族音楽  
祭2016～奥河内音絵巻2～

(公財) 河内長野市文化振興財団  
(大阪府)/9月/2年目(3年間)

●市民をつなぐ吹田演劇プロ  
ジェクト

(公財) 吹田市文化振興事業団  
(大阪府)/2～3月/2年目(3年  
間)

●枚方シティオペラ第2回公演  
ガラコンサート&オペラ「椿姫」

ハイライト

(公財) 枚方市文化国際財団(大  
阪府)/10月/2年目(3年間)

●地域の文化・芸術活動事業

大阪府能勢町/6月～/1年目(3  
年間)

●北神区民センター演劇プロ  
ジェクト 演出家・森田雄三

の「神戸の〇〇と神戸のフツウ  
の人たち(仮称)」公演&ワーク  
ショップ

(公財) 神戸市民文化振興財  
団/10月/3年目(3年間)

●「地域とつくる舞台」シリー  
ズ



まんてんプロジェクト「ほしぞらダンスパーティー」ダンス作品「星空へ登ろう」  
出演: セレノグラフィカ、静岡県川根本町内全小学5年生ほか(川根本町文化会館/2015年12月12日)

ごまのはえ 伊丹の物語プロジェクト

(公財)伊丹市文化振興財団(兵庫県)/10月/2年目(3年間)

●中・高生アートチャレンジ!  
兵庫県豊岡市/8月/1年目(3年間)

●再生アートプロジェクトin浜田  
(公財)浜田市教育文化振興事業団(島根県)/10~1月/1年目(3年間)

●熱響UNNAN~まちじゅうからクラシックがあふれだす!!~  
島根県雲南市/9月/3年目(3年間)

●2016「広島神楽」定期公演  
広島県/4月~2017年2月/2年目(3年間)

●演劇活性化事業  
(公財)広島市文化財団/1年目(2年間)

●徳島邦楽ルネッサンス  
(公財)徳島県文化振興財団/12月、2017年3月/3年目(3年間)

●内子座創建100周年関連事業  
茂山狂言公演  
愛媛県内子町/10月/3年目(3年間)

●女性の眼と句で綴る演劇  
「タイトル未定」  
(公財)北九州市芸術文化振興財団/8月/2年目(2年間)

●まどかぴあ舞台創造プログラム  
福岡県大野城市/9月/2年目(2年間)

●SO-ON プロジェクト  
~“宗”“奏”“創”~  
(公財)宗像ユリックス(福岡県)/2017年3月/1年目(3年間)

●東京藝術大学×世界遺産・ミュージックキャンプの島づくりプロジェクト  
長崎県/10月/1年目(3年間)

●アルカス演劇さーくる×劇団楽園天国「カンカン山んにき」  
(公財)佐世保地域文化事業財団(長崎県)/6月/2年目(2年間)

●音楽家と健軍の地域をつな

ぐ文化ホール事業

熊本市/6月/3年目(3年間)

●ジュニアオーケストラと地元音楽大学との連携による音楽普及育成事業

(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団/7月、2017年1月、3月/3年目(3年間)

●豊後FUNAIミュージカル  
大分市/2017年3月/1年目(3年間)

●おおいたオペレッタ合唱団育成事業「瓜生島3カ年プロジェクトvol.2」

大分県別府市/2017年3月/2年目(3年間)

●ミュージカル創出事業  
「尚寧王」アオリヤエ尚寧王妃の詩より

沖縄県浦添市/2017年2月/1年目(3年間)

●うるま市民芸術劇場20年記念劇場祭  
沖縄県うるま市/通年/3年目(3年間)

●南城市市民ミュージカル  
「太陽の門(ていだぬじょう)一新ムラヤー版」制作上演

沖縄県南城市/2017年2月/2年目(2年間)

創造プログラム(企画制作力向上特別分) 25件

●ダンスと演劇の融合による舞台芸術創造事業  
北海道/2017年2月

●パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)  
2016 GALAコンサート

(公財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会(北海道)/8月

●山津見神社天井画復元模写プロジェクト展示  
福島県/5月~7月

●筑波大学(総合造形)展  
茨城県/11月~2017年1月

●一万人のゴールド・シアター  
(公財)埼玉県芸術文化振興財

団/12月

●青少年とオーケストラの集い  
(公財)千葉県文化振興財団/11月

●オープンシアター2016  
(公財)神奈川県芸術文化財団/5月

●YOKOHAMA 18区 ショートショート・コンサート&ワークショップ

横浜市/9月

●「(仮) つくることは生きること 震災から5年《明日の神話》」展

川崎市/10月~2017年1月

●とやまから 新たな鼓動  
「北前船」~和洋の音楽と舞踊による融合舞台~

(公財)富山県文化振興財団/2017年2月

●ディスカヴァリークリエイション~過去・現在・未来へ~  
(公財)石川県音楽文化振興事業団/9月

●サラマンカホール  
夏の特別プロジェクト

岐阜県/7月

●なごや子どもまちかど文化プロジェクト

名古屋市/8月

●滋賀県次世代育成ユースシアター事業 音楽劇「THE FACTORY」(仮称)

(公財)滋賀県文化振興事業団/12月

●大阪クラシック  
大阪市/9月

●ヨコオマニア vol.1  
(公財)兵庫県芸術文化協会/8~11月

●神戸秋の音楽祭(仮)

(公財)神戸市民文化振興財団/10月

●岡山国際交流 Okayama Art Summit2016  
岡山市/10~11月

●「ピース・アーチ・ひろしま」  
平和発信コンサート  
広島県/7月

●「やさしい美術館の過ごし方」展(仮称)

徳島県/7~9月

●国際共同制作ダレン・ジョンストン「Zero Point」

(公財)高知県文化財団/6月

●到津の森公園×北九州芸術劇場×響ホール連携事業「タイトル未定」

(公財)北九州市芸術文化振興財団/9~10月

●佐賀県立美術館特別展  
「池田学展—ペン先のマイクロコスモス—」(仮称)

佐賀県/2017年1月~3月

●「ヘリット・リフトフェルト&ディック・ブルーナ オランダ近代デザインのヒューマニティ」(仮題)展開催事業

(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団/7月~9月

●平成28年度宝山ホール自主文化事業 ミュージカル「ヤジロウと海乱鬼2016」

(公財)鹿児島県文化振興財団/11月

●連携プログラム 36件

●札幌・砂川・幕別ジュニアジャズネットワーク

(公財)札幌市芸術文化財団、北海道砂川市、北海道幕別町/2017年1月~2月

●「残花—1945 さくら隊 園井恵子—」

岩手県宮古市、岩手県岩手町、秋田県鹿角市/5月

●宮澤賢治生誕120年記念  
4館共同制作 小池博史ブリッジプロジェクト地域創作プログラム [KENJI]&仙台版『風の又三郎/2016』公演

(公財)仙台市市民文化事業団、(公財)多摩市文化振興財団(東京都)、(一財)長野市文化芸術振興財団、長野県茅野市/10月~11月

●3館連携・演劇による「人・まち・劇場」つなぐプロジェクト~

## ▼ 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

人が人を想う気持ちを大切に～  
(公財)とちぎ未来づくり財団  
(栃木県)、(公財)足利市みどり  
と文化・スポーツ財団(栃木県)、  
(公財)廿日市市文化スポーツ振  
興事業団(広島県)/9月～10月

●野田秀樹作・オンケンセン演  
出国際共同企画  
「三代目リチャード」

東京都、(公財)静岡県舞台芸  
術センター、(公財)吹田市文化  
振興事業団(大阪府)、(公財)  
高知県文化財団、(公財)福岡  
市文化芸術振興財団、(公財)  
熊本県立劇場/4月、11～12月

●やなぎみわ シアタートラック  
プロジェクト『日輪の翼』

(公財)神奈川芸術文化財団、  
和歌山県新宮市、香川県/6月、  
8月、10月

●Noism1×Noism2 劇的舞踊  
『東洋の舞姫』ーラ・バヤデル  
(仮)

(公財)新潟市芸術文化振興財  
団、(公財)愛知県文化振興事  
業団、(公財)兵庫県芸術文化  
協会/6月～7月

●演劇公演「お国と五平/息子」  
(公財)黒部市国際文化センター  
(富山県)、(公財)射水市文化  
振興財団(富山県)、大分県日田  
市/9月

●吉田正記念オーケストラ い  
つでも元気がでるコンサート  
長野県東御市、三重県多気町、  
三重県御浜町/11月～12月

●日本舞踊家集団「弧の会」  
(公財)堺市文化振興財団、大  
分市、沖縄県宜野座村/10月

●ミュージカル「HENRO」(仮称)  
徳島県鳴門市、(公財)丸亀市  
福祉事業団(香川県)/9月

### 研修プログラム 18件

●アウトリーチ担い手研修  
(公財)宮城県文化振興財団/7  
月  
●Technical Theatre Training  
Program 舞台技術講座

(公財)せたがや文化財団(東京  
都)/9月、2017年1月

●あうるすぽっと舞台芸術講座  
2016

(公財)としま未来文化財団(東  
京都)/通年

●障害者に対する意識改革・環  
境整備 日本版ワークショップ  
(公財)神奈川芸術文化財団/7  
月～2017年3月

●創作のための舞台技術活用  
講座①「舞台で雨を降らす」に  
は(一財)長野市文化芸術振興財  
団/2017年3月

●うえだアーツスタッフアカデ  
ミー  
長野県上田市/5～7月

●平成28年度茅野市民館主催  
事業「クリエイティブパートナー  
活動中!」(仮題)

長野県茅野市/6月～  
●文化施設職員のためのアート  
マネジメントセミナー2016

(公財)静岡県文化財団/5月～  
7月、9月～2017年4月

●平成28年度愛知県芸術劇場  
舞台芸術人材養成ラボ  
(公財)愛知県文化振興事業団  
/6月～

●ミエ・アート・ラボ  
(公財)三重県文化振興事業団  
/2017年1月

●びわ湖ホール舞台技術研修  
～人材育成講座～  
(公財)びわ湖ホール(滋賀県)/  
2017年2月

●美術館の「連携アウトリーチ」  
および「プラットフォーム化」促  
進事業  
大阪市/7月～

●アートスクール2016～地域の  
創造的文化芸術活動を担う人  
材育成～  
兵庫県豊岡市/9月

●舞台専門人材育成事業「ステ  
ージテクニカルアカデミー2016」  
(公財)しまね文化振興財団(島  
根県)/6月～

●劇場塾2016

(公財)北九州市芸術文化振興  
財団/11月

●アートマネジメントセミナー  
2016(仮称)

(公財)福岡市文化芸術振興財  
団/7月、11月～2017年1月

●人・組織・地域がつくる美術  
館評価 がんばろうと思える評  
価の仕組みづくり

(公財)熊本市美術文化振興財  
団(熊本県)/

●KCIC アートマネジメント ラ  
ボ 2016  
鹿児島市/6～12月

### 公立文化施設活性化プログラム 2件

●滝川市公立文化施設活性化  
計画プログラム  
北海道滝川市

●美作市公立文化施設活性化  
計画プログラム  
岡山県美作市

### 地域伝統芸能継承者保存事業 29件

●地方フェスティバル事業 9件  
●第11回あさひのまつり  
千葉県旭市

●民俗芸能inとしま  
(公財)としま未来文化財団(東  
京都)

●かながわ伝統芸能祭「こども  
民俗芸能フェスティバル」[歌舞  
伎体験ワークショップ]及び「地  
芝居」

神奈川県  
●静岡県民俗芸能フェスティバル  
静岡県

●三遠南信ふるさと歌舞伎交  
流豊橋大会  
愛知県豊橋市

●第14回せきのみや子ども歌  
舞伎公演事業  
兵庫県養父市

●吉野川市伝統芸能の祭典～  
地域で育てる継承者～  
徳島県吉野川市

●筑前琵琶演奏会

公益財団法人福岡市文化芸術  
振興財団

●第10回都城民俗芸能祭  
宮崎県都城市

### 映像記録保存事業 7件

●四ヶ散米舞行列  
北海道礼文町

●横沢の麓山まつり  
福島県郡山市

●八幡神社の三匹獅子舞  
福島県二本松市

●霞ヶ浦帆引き船出航までの匠  
の技  
茨城県かすみがうら市

●河井のささら  
栃木県茂木町

●井上町地区「御祭礼」  
長野県須坂市  
●岩淵鳥居講による富士山頂  
への鳥居奉納  
静岡県富士市

### 保存・継承活動支援事業 13件

●岩手県北上市

●山形県鶴岡市

●東京都昭島市

●東京都国立市

●神奈川県三浦市

●新潟県上越市

●富山県富山市

●福井県福井市

●長野県佐久市

●長野県南木曾町

●静岡県伊豆の国市

●滋賀県守山市

●兵庫県養父市

## 財団からのお知らせ

### ●平成29年度から「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)」がリニューアルします! ~平成29年度実施団体募集

この事業は、公共ホールを拠点として、コンテンポラリーダンスのアーティストを地域に派遣し、専門家のコーディネーターのサポートのもと、ホールとアーティストが共同で企画した地域交流プログラムや公演を実施する事業です。

コンテンポラリーダンスがもつ自由な表現と、言葉を使わない身体によるコミュニケーションには無限の可能性があり、地域住民に向けたさまざまなアプローチが可能で、地域やホールの特性を生かして、その地域ならではの企画をつくり上げることができます。

リニューアルの内容は次のとおりです。また、詳細は実施要綱と同封のチラシをご参照ください。なお、関心のあるホール等の皆様には資料をお送りしますのでお問い合わせください。

皆様のご応募をお待ちしています。

**募集締切:平成28年6月3日(金)必着**

#### リニューアル内容の特徴

平成28年度までは、1週間程度の事業日程で地域交流プログラムと公演を実施してきましたが、以下のような事業内容にリニューアルします。また、リニューアルに伴い、これまでに本

事業を実施した団体も応募の対象となります。

- A、B、Cの3つのプログラムに分け、地域の特性を生かした取り組みを段階的に支援することができるようになりました。実施団体は、今後のダンス事業を実施するためのビジョンに基づいて、3つのプログラムから実施するプログラムを選択できます。また、翌年度以降に、継続して他のプログラムを実施することが可能です。

- 継続的に事業実施を支援できるよう、当財団が負担する経費をこれまでより増額しました。

#### ◎Aプログラム(地域交流プログラム)

原則として、4日間で学校や福祉施設等でのアウトリーチ、公募型ワークショップを4~5回実施するプログラムです。

#### ◎Bプログラム(市民参加作品創作プログラム)

原則として、4日間+5日間で市民参加作品を創作し、有料で公演するプログラムです。また、併せて公募型ワークショップを1回実施します。

#### ◎Cプログラム(公演プログラム)

原則として、4日間で登録アーティストのレパートリー作品を有料で公演するプログラムです。また、併せて公募型ワークショップを1回実施します。

#### 平成29年度「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)」プログラム概要

	Aプログラム	Bプログラム	Cプログラム
対象団体	地方公共団体、指定管理者、公益財団法人 等		
事業日程	4日間	4日間+5日間 (7泊11日以内の事業日程)	4日間
事業内容	①アウトリーチ(3回) ②公募型ワークショップ(1回) ①②を合わせて4~5回	①公募型ワークショップ(1回) ②市民参加作品の有料公演(1回) ※クリエーションワークショップを重ねて作品を創作します。	①公募型ワークショップ(1回) ②アーティストのレパートリー作品の有料公演(1回)
経費負担 支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アーティストの派遣経費(出演料等、現地移動費を除く交通費、宿泊費等)</li> <li>●コーディネーターの派遣</li> <li>●全体研修会(事業実施に必要なノウハウ等の研修)の開催</li> </ul>		●実施団体が支出した事業実施に係る対象経費の2/3(上限50万円)を負担

●事業実施要綱および事業申込書等は、当財団ウェブサイトに掲載しています。  
<http://www.jafra.or.jp/j/guide/box/>

●「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)」に関する問い合わせ  
芸術環境部 栗林・湯澤  
Tel. 03-5573-4055・4077  
[dankatsu@jafra.or.jp](mailto:dankatsu@jafra.or.jp)

平成29年度

公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)登録アーティストのご紹介 (50音順、ソロ・デュオの順)

●鈴木ユキオ(すずき・ゆきお)

世界40都市を超える地域で活動を展開し、しなやかで繊細に、且つ空間からはみだすような強靱な身体・ダンスで、多くの観客を魅了する。2008年に「トヨタコレオグラフィアワード」にて「次代を担う振付家賞(グランプリ)」を受賞。2012年フランス・パリ市立劇場「Danse Elargie」では10組のファイナリストに選ばれた。また、国内外の学校や養護施設でのワークショップや、障害のある人も含めたダンスカンパニーでの創作活動なども行い、丁寧に身体を意識し、自分のダンスを楽しむきっかけを提案している。



©Gla Doodrich

●田村一行(たむら・いっこう)

1998年大駱駝艦に入艦。舞踏家・俳優である麿赤児に師事。緻密な振付で構成する作品は、新たな舞踏の可能性を示し注目されている。2008年、文化庁新進芸術家海外留学制度により、フランスのジョセフ・ナジのもとへ留学。舞踏の特性を活かしたワークショップは幅広く好評を博している。演劇作品などへの客演も多数。第34回舞踊批評家協会賞新人賞受賞。



●赤丸急上昇

[赤松美智代(あかまつ・みちよ)+丸山陽子(まるやま・ようこ)]

「現実と非現実のおりなす諧謔味溢れる赤丸ワールド複雑怪奇な世の中だからこそシンプルに人の心に伝わるダンスを求めて活動中」ダンス王国、四国松山を拠点に国内外で赤丸旋風を巻き起こす二人、毎年300人以上の子ども達・大人達と関わりながら、生活の中にダンスがある事の喜びを伝えています。その他、教育機関、知的障がい者施設へのアウトリーチ、車いすダンスへの振付等、ダンスが人の心に生きて、人がダンスによって幸せになることが願い。結婚式や宴の席にもお面をかぶって出没。えひめ国体開会式振付。愛媛大学非常勤講師。



©Tadashi Miyamoto

●田畑真希(たばた・まき)

3歳からクラシックバレエを始める。高校生の頃、トゥシューズを履いて踊ることに疑問を感じ、さらなる表現を追及するため桐朋学園短期大学演劇科に入学。演技、日舞、狂言、アクロバット等様々な表現を学ぶ。紆余曲折を経て再びダンスの世界へ。2007年より振付家としての活動を始め、横浜ダンスコレクションR2009にて「未来に羽ばたく横浜賞」「マスダンザ賞」をダブル受賞。自身の主宰カンパニー「タバマ企画」を立ち上げ、国内外で精力的に活動中。



©松本和幸

●東野祥子(ひがしの・ようこ)

ANTIBODIES Collective振付家・ダンサー。2000年-2014年「Dance Company BABY-Q」を主宰。国内外の劇場やフェスティバルにて舞台作品を数々発表。ミュージシャンと即興セッションも多数行う。トヨタコレオグラフィアワード、横浜ソロ×デュオ(Competition)+などで大賞を受賞。2015年、京都に活動拠点を移し、「ANTIBODIES Collective」を結成。舞台作品制作やパフォーマンスを実践している。時に「HE?XION!」で洋服デザインや「HOLY-C 60」として音楽シーンでも活動中。www.antino.org



●セレノグラフィカ

[隅地茉歩(すみじ・まほ)+阿比留修一(あびる・しゅういち)]

関西を拠点に国内外、屋内外を問わず精力的に活動を展開する結成19年のダンスカンパニー。不思議で愉快的な作風、緻密な身体操作が持ち味。代表の隅地がトヨタコレオグラフィアワード2005「次代を担う振付家賞」受賞後は更に活動の幅を広げている。公演活動と並行して、あらゆる世代にダンスを届けるべく全国各地へ遠征し、250を超える教育機関へのアウトリーチも行い「身体と心に届くダンス」を生み出す日々である。



©平野愛

## 地域通信

### ●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示しているのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介します。

### ●地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  
[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知  
[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知  
[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

### ●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。  
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4066  
letter@jafra.or.jp  
地域創造情報担当 宇野・小川

●2016年7月号情報締切  
5月30日(月)

●2016年7月号掲載対象情報  
2016年7月～9月に開催もしくは募集されるもの

### 地域創造ウェブサイト「人材ネットバンク」 掲載情報募集中

当財団ウェブサイト内に以下の情報を掲載するページを設けています。

- 公共ホール等の求人情報
- 公共ホール等で実施する人材育成研修の開催情報

掲載・申込方法など詳細はウェブサイトをご覧ください。  
<http://www.jafra.or.jp/>

### 北海道・東北

#### ●岩手県岩手町ほか

いわてアートサポートセンター  
〒020-0878 盛岡市肴町4-20  
永卯ビル3F  
Tel. 019-604-9020 菊池摩美  
<http://iwate-arts.jp/>

#### 『残花—1945 さくら隊 園井恵子—』

県内の芸術文化創造の発信や市民協働型の事業等を推進している「いわてアートサポートセンター」が企画制作する演劇公演。広島原爆で命を落とした岩手出身の女優・園井恵子の生涯を、岩手ゆかりの詩森ろばの演出で上演する。園井ゆかりの岩手町、震災後初の津波被災ホール再開となる宮古市民文化会館をはじめ、盛岡市や鹿角市、東京でも上演。

[日程] 5月22日～6月5日  
[会場] 岩手町スポーツ文化センターほか

### 関東

#### ●栃木県宇都宮市

栃木県立美術館  
〒320-0043 宇都宮市桜4-2-7  
Tel. 028-621-3566 山本和弘  
<http://www.art.pref.tochigi.lg.jp/>

#### ヒュー・スコット=ダグラス展

世界的に注目を集めている若きアーティスト、ヒュー・スコット=ダグラス(1988～)の展覧会。画像の可能性を探究する2つの新作シリーズを発表。35mmフィルムをベースにしたスライド上映と、「写真油絵」という江戸幕末期の古い技法を現代にリポートした最新作を、世界に先駆けて公開する。

[日程] 4月16日～6月19日  
[会場] 栃木県立美術館

#### ●群馬県前橋市

アーツ前橋  
〒371-0022 前橋市千代田町5-1-16

Tel. 027-230-1144 今井朋  
<https://www.artsmaebashi.jp/>

#### Art Meets 03

#### 石塚まこ 康(吉田)夏奈

アートを通じて創造的な日常を発見し、多様な考え方や感性にふれてもらうことを目的に、中堅アーティストを紹介する企画展シリーズ。今回は石塚まこ、康(吉田)夏奈を取り上げる。両作家共に群馬や前橋から着想を得た新たな作品を発表。「歩く」という行為に着目し、ギャラリー空間を散歩するように構成された展示によって、日常生活への視線の変化を楽しむ。

[日程] 3月19日～5月31日  
[会場] アーツ前橋

#### ●千葉県市原市

中房総国際芸術祭いちはらアート×ミックス実行委員会事務局  
〒290-0225 市原市牛久500(南総支所内)  
Tel. 0436-50-1160 富樫淳一郎  
<http://ichihara-artmix.jp/>

#### アートいちはら2016春 ～晴れたら市原、行こう～

市原市南部の里山や廃校を舞台に2014年に開催された「いちはらアート×ミックス」。地域資源や地域力をより向上させるひとつの契機となり、地域住民と市外からのアーティストやボランティアが交流していくことで、新しいコミュニティが生まれた。今回は、17年春の第2回開催に繋げていくためのプログラムとして、古民家などでの作品展示、廃校を舞台にしたアートプロジェクトなどを開催。

[日程] 5月3日～8日  
[会場] 市原湖畔美術館、市内各所ほか

#### ●横浜市

神奈川県民ホール  
〒231-0023 横浜市山下町3-1  
Tel. 045-633-3797 赤江直美

<http://www.kanagawa-kenminhall.com/>  
オープンシアター2016

#### 音楽物語『動物の謝肉祭』

絵本作家のあべ弘士が描いた動物とサン=サーンスの音楽とともに、本公演のためにつくられた独自の脚本・演出により実施する音楽物語。神奈川フィルの演奏のみならず、朗読やダンスを交えた迫力あるステージを披露。また観客の拍手の大きさによって演奏曲目を決める企画やバックステージツアーなどの観客参加型の企画のほか、神奈川芸術劇場(KAAT)と神奈川県立音楽堂が連携して、さまざまなプログラムを展開。

[日程] 5月29日  
[会場] 神奈川県民ホール

#### ●神奈川県茅ヶ崎市

茅ヶ崎市美術館  
〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北1-4-45  
Tel. 0467-88-1177 西内裕詞  
<http://www.chigasaki-museum.jp/>

#### マティスが認めた日本人画家 — 歿後20年 — 青山義雄展

アンリ・マティスが絶賛した色彩の画家・青山義雄(1894～1996)の没後20年を記念する展覧会。新収蔵のフランス留学時代の大作『田園の裸の人々』など初期の貴重な作品群や、全国のコレクターが愛蔵する名品など約70点により、光り輝く色彩世界を改めて振り返る。

[日程] 4月3日～6月5日  
[会場] 茅ヶ崎市美術館

### 北陸・中部

#### ●長野県飯田市

飯田文化会館  
〒395-0051 飯田市高羽町5-5-1

Tel. 0265-23-3552 中島弘貴  
<http://www.iida-oketomo.com/>

#### オーケストラと友に音楽祭2016 名古屋フィルハーモニー交響楽

## ▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

団と市民の実行委員会によるフェスティバル。地元音楽団体の企画によるコンサートや、楽器体験を交えた小学生のためのコンサート、小編成のアンサンブルを出前する「コミュニティーコンサート」など多彩なプログラムを展開。地元演奏家の育成を目的とした音楽クリニックでは、中高生の吹奏楽団員ら受講生によるクリニックコンサートも実施。  
[日程] 5月1日～4日  
[会場] 飯田文化会館、飯田市民館ほか

### 近畿

#### ●滋賀県守山市

守山市教育委員会  
〒524-8585 守山市吉身2-5-22  
Tel. 077-582-1169 村上真規  
<http://moriyamabuntai.com/luciole/>  
**ルシオール アート キッズフェスティバル2016**

ラ・フォル・ジュルネびわ湖2016の関連イベントとして開催するプログラム。飯森範親と日本センチュリー交響楽団によるメインコンサートのほか、町家を改装したギャラリーなどでの無料の「キオスクコンサート」、ワークショップ、演劇公演など、大人も子どもも楽しめるプログラムが市内各所で展開される。音楽を鑑賞しながら食事を楽しめる「食のマルシェ」も開催。

[日程] 5月22日  
[会場] 守山市民ホールほか



昨年のキオスクコンサート

#### ●京都市

京都市東部文化会館  
〒607-8169 京都市山科区榎辻西浦町1-8

Tel. 075-502-1012 鈴木康之  
<http://www.kyoto-ongebun.jp/toubu/>  
**地域みんなの雅楽鑑賞会**  
「子どもたちに日本の伝統音楽を届けたい」をコンセプトに、地域の小学校高学年を主な対象とした雅楽公演。大正5年に創立された平安雅楽会を招き、解説を加えながら雅楽の魅力にふれる。舞楽『胡蝶』では小学生が舞人を務める。  
[日程] 5月21日  
[会場] 京都市東部文化会館

#### ●大阪市

大阪市立美術館  
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82 (天王寺公園内)  
Tel. 06-4301-7285 弓野隆之  
<http://www.osaka-art-museum.jp/>  
**特別展「王羲之から空海へ一日の名筆 漢字とかなの競演」**  
大阪市立美術館開館80周年と日本書芸院創立70周年を記念して開催する特別展。日本書家に大きな影響を与えた王羲之をはじめ、空海ら平安から江戸時代に至る日中の名筆を展示。国宝や重要文化財を含む約230件が揃う。台湾の国立故宫博物院所蔵作品も展示される。  
[日程] 4月12日～5月22日  
[会場] 大阪市立美術館

### 九州・沖縄

#### ●福岡市

福岡ミュージアム連絡会議  
〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 (福岡市文化振興課内)  
Tel. 092-711-4665 下川華奈  
<http://f-museum.city.fukuoka.lg.jp/museumweek>

#### 福岡ミュージアムウィーク2016

2009年に始まり、今年8回目を迎えるフェスティバル。福岡市博物館など福岡市内の14施設が参加し、それぞれトークショーやワークショップなどさまざまなプログラムを開催。期間中はスタ

ンプラリーの実施や、常設展示観覧料・入館(園)料が無料または割引になるなど、多くのミュージアムを巡りやすくなっている。  
[日程] 5月14日～22日  
[会場] 福岡市美術館、福岡アジア美術館ほか

#### ●熊本県宇城市

宇城市不知火美術館  
〒869-0552 宇城市不知火町高良2352  
Tel. 0964-32-6222 佐々木あきつ  
<http://kumamoto-museum.net/shiranuhi/>

#### 生誕140年 河野浅八写真展

昭和初期に欧米で活躍した不知火出身の写真家・河野浅八の回顧展。繊細なモノクロ諧調と大胆な構図が持ち味で、現代の目から見てもモダンで巧緻な作風は、ビクトリアリズムの流れを汲む。近年旧生家より発見された作品群1,600点の中から、ロイヤルサロン第1席に選ばれた出世作『Pond Fantasy』のオリジナルプリントやデジタル復元した作品など約60点を公開する。  
[日程] 4月19日～6月5日  
[会場] 宇城市不知火美術館  
\*不知火美術館は熊本地震による被害と修繕のため、4月15日からしばらく休館。

#### ●宮崎県三股町

三股町立文化会館  
〒889-1901 北諸県郡三股町大字樺山3404-2  
Tel. 0986-51-3462 神野康志  
<http://www.town.mimata.lg.jp/bunka/>  
**みまた演劇フェスティバル「まちどら! 2016」**

“読む・書く・観る・歩く”がコンセプトの演劇祭で、今年で5回目。会館で実施している戯曲講座で生まれた作品を公募で集まった町民と九州各地で活躍する俳優・演出家により朗読劇としてまちの特設3劇場で上演する「ヨムドラ!」、90分で戯曲が書

けてしまう体験講座「カクドラ!」、熊本の劇団「不思議少年」のオリジナル短編などが上演される「ミルドラ!」など、多彩なプログラムで街中が演劇に染まる。  
[日程] 5月27日～29日  
[会場] 三股町立文化会館ほか



昨年のまちどら! (屋外会場「まちCafé!」でカクドラ! 作品を実演)

### トピックス

#### ラ・フォル・ジュルネ2016 la nature — 自然と音楽

1995年にフランス・ナント市で始まり、2005年から日本でも開催されているクラシック音楽の祭典。「la nature ナチュラル — 自然と音楽」をテーマに、今年も全国4都市で海外・国内の団体・アーティストによる多数のコンサートが低料金で楽しめる。東京では、今年没後20年を迎える武満徹をはじめとする日本の作曲家による数々の作品を取り上げ、4年ぶりに庄司紗矢香がソリストとして登場する。新潟では、豊かな水のまちにちなんで水に係る名曲を川にちなんだ名称の会場で上演。金沢では「金沢の自然を音楽にしたら?!」と題して4人の人気作曲家による競演などが行われる。滋賀では、昨年好評を得た「湖上公演」を継続して開催。  
[開催地(主会場)・日程] 東京(東京国際フォーラムほか): 5月3日～5日、新潟市(りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館ほか): 4月28日～30日、石川県金沢市(石川県立音楽堂ほか): 5月3日～5日、滋賀県大津市(滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールほか): 4月29日～5月1日

## ▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

### 福島県

#### チャレンジふくしま パフォーミングアーツ プロジェクト 『タイムライン』

アーティストとともに福島県内の中高生が舞台作品づくりに挑戦する「チャレンジふくしまパフォーミングアーツプロジェクト」の公演が、福島県文化センター(3月26日)といわき芸術文化交流館アリオス(4月3日)で行われた。出演したのは公募による県内各地の中高生35人(演奏、映像も含む)。中心となったアーティストは、福島県立いわき総合高校の生徒たちと演劇づくりを行った経験をもつマームとジプシーの藤田貴大、福島で小中高時代を過ごした音楽家の大友良英で、音楽・演劇・映像など約50回のワークショップ(WS)を重ね<sup>(\*)1</sup>、中高生たちの何気ない1日を綴った作品『タイムライン』をつくり上げた。

福島県では、震災後文化振興基本計画を見直し、「文化の光が新たな元気を生み出し、人と地域が輝く“新生ふくしま”の創造」を目標に掲げて、その一環として2014年から「森のはこ舟アートプロジェクト」<sup>(\*)2</sup>、15年から今回のプロジェクトをスタートした。文化振興課の大波真吾主任は、「復興に向けて積極果敢に挑戦する『チャレンジふくしま』事業のひとつとして、子どもたちの夢の実現を後押しする取り組みを展開しています。震災を経験した子どもたちが、プロのアドバイスを受けて何かをつくり上げることで未来を創造する力を育むことができるのではないかと、福島と縁のある平田オリザさん<sup>(\*)3</sup>や藤田さん、大友さんなどに相談し、今回のプロジェクトが立ち上がりました」と話す。

3月26日の発表会を取材すると、大ホール舞台上に会場となる仮設空間が設けられていた。左右の巨大スクリーンと客席でステージを囲み、出演者の素顔や景色が映し出される中、WSでつくられた音楽の生演奏とともに中高生たちが「8:20」「9:35」と時系列で1日をたどっていく。

遠い記憶を呼び起こすような光を浴びてゆっくり立ち上がった彼女たちは、「いつもどおりの朝、だけどよく覚えているあの朝のことを」と声を揃え、「おはよ〜」と元気に登校し、接続詞ラップで1限目の国語、イス取りゲームをしながら2限目の英語、給食ダンスに掃除ダンス、そして懐中電灯を点けた夜の海岸の散歩など、日常の

時間を慈しむようにリピート。他人の物語を演じるのではなく、子どもたちから即興的なWSで引き出された平穏な時間の記憶が、音楽のライブ感とともにダイレクトに迫り、観客の子ども時代の記憶や震災の記憶とも相まって、鎮魂(たましずめ)の時間をつくり出していた。

初舞台だという高校3年生の佐々木董さんに感想を尋ねると、「ゲームをやりながらパーツをつくって、最後の数日でひとつの作品にしたという感じです。藤田さんはひとりひとりの話をよく聞いてくれて、その言葉で作品をつくってくださった。予想していたのとは全く違う演劇で、音楽もセリフみたいで、こういうやり方もあるんだと興味が沸きました。いろいろな境遇の友達と出会い、それぞれの日常があることもわかった。普通に過ごしているとその大切さを実感できないけど、『タイムライン』をやって大切さに気がつきました」と答えてくれた。

藤田は、「最近、演劇・音楽・美術などとカテゴライズするのではなく、すべて“ライブ表現”として一体にできるのではと追求していて、それが中高生のみんなと実現できたと思います。これだけ長い時間をかけて作品をつくったことはなくて、子どもたちも成長するし、凝り固まったプロとやるよりも驚かされる瞬間が本当にたくさんあった。この子たちの時間(=作品)をつくるのが僕の他の創作活動にとってもベースになった1年でした」と振り返る。

大友は、みんなで音楽をつくる集団即興オーケストラ<sup>(\*)4</sup>を各地で実践するとともに、震災後、プロジェクトFUKUSHIMA!<sup>(\*)5</sup>を立ち上げ、精力的に活動してきた。「震災直後は直接的な被害に対してどうするか、ということでは考えられなかった。でも5年経ってやっとあの子たちをどこにでもいる中高生として見て、一緒に作品をつくる相手として立ち会えるようになった。それは10代の僕自身に向き合うことでもありました」と感慨深げだった。

藤田は子どもたちに「深呼吸する場であってほしい」と言っていたが、この深呼吸できる場づくりというのが演劇のもつ新しい力であり、それが何より必要だったのだと改めて感じた。(坪池栄子)

● チャレンジふくしまパフォーミングアーツプロジェクト『タイムライン』

【主催】福島県

【会場】2016年3月26日：福島県文化センター、4月3日：いわき芸術文化交流館アリオス

【作・演出】藤田貴大 【音楽】大友良英  
【振付】酒井幸菜 【写真・映像】石川直樹  
【監修】平田オリザ 【記録映像】高見沢功

\*1 5月～6月(体験ワークショップ)、7月～3月(演劇チーム、音楽チームによるWSおよび合同WSを週末2日ベースで実施。

\*2 森林文化をテーマに、山間部の地域にアーティストが入り、リサーチを踏まえて地域の人々と地域再生に向き合う事業を展開。実行委員会委員長は赤坂憲雄、ディレクターは伊藤達矢。

\*3 福島県立いわき総合高校の開校に際し、演劇教育のアドバイスをを行うとともに、生徒たちを対象にしたワークショップを長年実施。前例のない教育に取り組む福島県立ふたば未来学園高等学校(2015年4月開校)を支援する「ふたばの教育復興応援団」のメンバーを務めるなど、福島県との縁が深い。

\*4 演奏の経験を問わず、音の出るものを持ち寄り、「リズムを保つ」という簡単なルールで指揮者の指示に従って思い思いに音を出す手法により、みんなで音楽をつくる取り組み。

\*5 東日本大震災を契機に、福島出身・在住の和合亮一、遠藤ミチロウ、大友良英を代表として発足したプロジェクト。「フェスティバルFUKUSHIMA!」やイベントを継続的に展開し、FUKUSHIMA!に向き合い、FUKUSHIMAをポジティブな言葉に変えていくプロジェクト。